

## 平成 24 年度市政懇談会【市民生活について】

### <見出し>

※(かっこ)は懇談会開催日です。開催日順に掲載しています。

- 1 地域防災計画と災害時要援護者の支援プラン、民生委員の役割について (6/26)
- 2 空き家対策について (6/26)
- 3 自主防災組織の結成について (6/26)
- 4 拠点避難所について (6/26)
- 5 災害時の交通整理、拠点避難所の備品、災害時の安否確認、民生委員と自主防災組織の役割について (6/26)
- 6 岩間地区の防災無線について (6/26)
- 7 友部駅南口の自転車置き場について (6/30)
- 8 ゆかいふれあいセンターと岩間二小学区の公園について (6/30)
- 9 市のバスの利用について (6/30)
- 10 災害関係の予算について (7/4)
- 11 地名について (7/4)
- 12 宍戸小学校からセレモニー諏訪への道路について (7/4)
- 13 防災無線について (7/4)
- 14 自転車での運行指導について (7/5)
- 15 地域との連携について (7/5)
- 16 地域ポイント制度について (7/5)
- 17 交通安全指導員と交通安全母の会について (7/5)
- 18 地域の人材利用について (7/5)
- 19 防犯連絡員への犯罪情報の提供について (7/5)
- 20 防犯灯の管理について (7/5)
- 21 笠間地区の行政区名について (7/5)
- 22 区長の条件について (7/5)
- 23 滝川から池野辺の道路について (7/5)
- 24 不審者情報および高齢者の捜索情報について (7/5)
- 25 不法投棄について (7/5)
- 26 自警団の結成について (7/5)
- 27 セブンイレブン手越店前の信号について (7/5)
- 28 ボランティアの理解について (7/5)
- 29 地域ポイント制度のポイントについて (7/5)
- 30 交通安全母の会の補助金について (7/5)
- 31 自主防災組織の備蓄倉庫の減免措置について (7/5)
- 32 自警団に対する表彰について (7/5)
- 33 歩道橋について (7/8)
- 34 区長回覧について (7/8)
- 35 太陽光発電の追加助成について (7/8)
- 36 ソーシャルメディアを活かしたPRについて (7/8)
- 37 岩間駅について (7/18)
- 38 岩間海洋センターについて (7/18)
- 39 市民体育館の再開時期について (7/18)
- 40 公民館の人形劇について (7/18)

- 41 敬老会の予算について (7/25)
- 42 敬老会に関する職員の対応について (7/25)
- 43 敬老会の開催内容について (7/25)
- 44 愛の定期便事業について (7/25)
- 45 避難所について (7/25)
- 46 社会福祉協議会笠間支所について (7/25)
- 47 要援護者との関わりについて (7/25)
- 48 寄付者の氏名公表について (7/25)

## <内容>

### 1 地域防災計画と災害時要援護者の支援プラン、民生委員の役割について (6/26)

**【意見】** 地域防災計画の見直しは、どこまで進んでいるのか、いつごろ完成するのか。また、災害時要援護者の支援プランについてどう考えているのか。災害時には、市、自主防災組織、警察、消防、福祉施設との連携が必要になるが、各関係機関の役割、連携が明確になっていないので、はっきりした方が良いと思うが、民生委員に対してどういった役割を求めるか。

**【回答】** 合併時に作成した地域防災計画は、国の指針に基づいて作成したので、どこの市でも内容は同じだと思います。東日本大震災の時は、地域防災計画に則して対応しましたが、現場ではすべて計画通りに動いたわけではないと思います。その反省点を活かして、地域防災計画の見直しを行うために、去年第1回目の会議を開催し、2回目が6/27に開かれる予定です。そこでは、原子力と竜巻の問題への対応を除いた課題について協議していきます。原子力と竜巻の問題については、国の方針が定まっていませんので、国・県の方針が定まった後に、市の方針を決めていく予定です。

災害時要援護者の支援プランについては、即答はできません。6/27の会議に織り込まれているのか、確認してみます。関係機関の連携のため、災害があってもなくても、防災会議のような定期的な会合は必要だと思います。地域防災計画には、民生委員の方の役割がいろいろ書かれていると思いますが、すべて行うのではなく、地域の実情に合わせていただき、防災計画を基本的な考え方として捉えていただければと思います。

### 2 空き家対策について (6/26)

**【意見】** 空き家が増えているので、その空き家についてはどのように考えているのか。

**【回答】** 震災により、空き家の瓦がはがれたままになっていたり、建物が傾いていたり、といった状況が以前より目に付くようになりました。この空き家の問題は、笠間市だけでなく全国的な課題となっていて、持ち主に対する指導、勧告や、持ち主の氏名の公表などを条例化して、適正な管理をお願いする傾向になってきています。笠間市では住みよい環境条例という条例がありますので、その中に空き家対策を盛り込むという条例改正を行う予定です。空き家対策は、財政的な支援まで踏み込むことが必要であると思っています。ただ、税金を個人の家に対して使うということは、いろいろな角度から物事を考える必要があります。空き家を壊したあと、その土地の有効活用が図られる場合には、税金を入れるなど、空き家対策について考えていきます。

### 3 自主防災組織の結成について (6/26)

**【意見】** 自主防災について、区内での話し合いがうまくいかずなかなか進まないのので、行政が働きかけをしてほしい。

**【回答】** 自主防災組織の重要性は、認識していただいていると思いますが、地域によって温度差もあつたり、まとまり具合が障害になったりと状況が違います。市では自主防災組織に関する映

画会等の啓発活動に協力していきたいと思います。地区内の雰囲気が変われば弾みがつくと思います。

設立については、組織として確立し、年に一回程度集まり、役割を確認するくらいでもよいと思います。現在、結成に向けて進んでいる10程度の団体を含めて、約50の自主防災組織が笠間市にはあります。ある程度の自主防災組織ができれば、自主防災組織の連絡協議会を立ち上げ、地域間の意見交換会などを行いたいと考えています。(※10月16日現在、74の自主防災組織が設立しています)

#### 4 拠点避難所について (6/26)

**【意見】** 震災後、拠点となる避難所を6か所指定したが、災害が発生した場合、拠点避難所の開設はどのように知ればよいのか。

**【回答】** 市では、拠点避難所を6か所作り、その地域に住んでいる職員を一つの避難所につき3~5人割り当て、その職員に鍵の管理をさせることにしました。避難所開設の状況判断は、対策本部で判断しますので、基本的には市役所本所か支所に問い合わせてください。

#### 5 災害時の交通整理、拠点避難所の備品、災害時の安否確認、民生委員と自主防災組織の役割について (6/26)

**【意見】**

- ① 区懇談会のときに、友部中学校の先生が「災害時、友部中学校は門がいくつもあるので、事故が起きたり、入り口が混雑したりと苦情が多かった。今後は、緊急時の入り口をプール近くの入り口だけを明け、一方通行にする」というように具体的に交通整理の計画を立てたという話を聞いた。友部中学校のように、災害時の交通整理計画も必要なのではないか。
- ② 拠点避難所の備品が、かなりの量になるとのことだが、何を配備しているのか。
- ③ 災害時、自分は民生委員として安否確認を行った。地区には11人の独居老人がいるが、実際に確認がとれたのは半分だった。家族のところに移動していて確認が取れなかったので「不在看板」を導入してはどうか。
- ④ 自分は3つの区の民生委員をしていて、そのうち1つは自主防災組織の搬出班長をしている。搬出班長をしていると、民生委員としての安否確認ができなくなってしまう。

**【回答】**

- ① 交通整理は、必要だと思います。
- ② 拠点避難所には、水や毛布、発電機や投光機などの備品を倉庫に納めてあります。
- ③ 「不在看板」をかけると空き巣被害にあいやすくなるという心配があります。
- ④ 民生委員としての役割と自主防災組織での役割をどちらもというのは難しいと思いますので、公職としての民生委員の役割を優先していただきたいと思います。地元の方に、民生委員としての仕事を理解していただくことが必要だと思います。

#### 6 岩間地区の防災無線について (6/26)

**【意見】** 岩間地区の安居は屋外の防災無線がないので、新設してほしい。

**【回答】** 合併前の岩間町は戸別の受信機を設置し、旧笠間市は子機を最小限にして屋外の防災無線を設置したという経緯がありますが、これを今後統一していきたいと思います。現在、デジタル化に向けて移行過渡期ですので、もう少し待ってください。

#### 7 友部駅南口の自転車置き場について (6/30)

**【意見】** 友部駅南口の自転車置き場はいつまで仮設なのか。

**【回答】**市では友部駅南口の駐車場周辺を含めて有効活用したいと考えています。最終的には本格的な駐輪場にしていく予定ですが、もう少し時間をください。

## 8 ゆかいふれあいセンターと岩間二小学区の公園について (6/30)

**【意見】**ゆかいふれあいセンターはいつから使えるようになるのか。  
岩間二小学区には公園が少ないと思うので、公園を作ってほしい。

**【回答】**ゆかいふれあいセンターは、東日本大震災でプールの設備がかなり傷んでしまいました。最初は再開が難しかったのですが、国の補助がつくことになり、今年度中に全面改修を行います。来年4月から使えるようになる予定です。

岩間二小学区を含めて全域的に公園を作ってほしいという要望があります。市では、市民センターいわまのように既存の場所に遊具を設置して充実したり、市の土地があった柿橋地区には公園を作ったりしています。市が新たな土地を購入して公園を作ることは難しいので、市の遊休地があるなど、条件や周辺の状況を調査し、検討していきます。

## 9 市のバスの利用について (6/30)

**【意見】**親子で出かけるときなどに市のバスを使うことはできないか。

**【回答】**以前は、市のバスは地域の団体などでも使用していましたが、道路運送法という法律のため、バスの利用についてのルールを作りました。今は行政主催の行事にのみ、市のバスを使っています。

## 10 災害関係の予算について (7/4)

**【意見】**国の災害関係の予算は、かなり使い残しがあるという話だが、市長はどのように考えているか。

**【回答】**今回の震災で、体育館、庁舎、下水道、道路といった個別のものについては補助がでています。しかし、復興交付金については、津波の被害を受けた沿岸部や、液状化の被害を受けた潮来、鹿島だけで、内陸の常陸太田や笠間、石岡、小美玉については、1円も交付金がついていません。笠間市でも笠間地区の被害が大きかったので、調査費の申請をしたのですが、通りませんでした。2日前にも国にいき、再度お願いをしてきましたが、笠間市は半壊以上が約170軒で、大きな旅館が廃業し、笠間稲荷神社の門前通りが被害を受けたことを説明しても、東北の方は500軒の全壊なので、笠間市はまだよい方ですと言われてしまいます。私たちも被害を受け、復興のための計画をたてる予算をくださいという話をしていますが、なかなか通りません。それは、復興交付金申請の際に、被害を膨らませて申請をしたところがあったからだと思います。ですから、国は、津波と液状化の被害だけで線引きをしています。企業誘致で補助金が出る制度がありますが、これも沿岸部だけで、沿岸部の企業への通勤者が多い水戸市と茨城町には支援がされましたが、笠間市は沿岸部への通勤者が少ないということ適用されませんでした。ですが、引き続き国へのお願いはしていきたいと思っています。

## 11 地名について (7/4)

**【意見】**合併したことで、岩間と友部という地名がなくなったが、市外から来た人にとっては、岩間駅、友部駅、宍戸駅とあってもどこかわからない。国道6号線を走っていたら、道路標識が笠間ではなく岩間となっていた。下郷地区は旧岩間町内でも広い地区なので、下郷地区を岩間と名称変更してはどうか。

**【回答】**施設名として、岩間駅や岩間インターチェンジがあるからといって、新しく岩間という地名を設けることは現実的には難しいです。

桜川市では、地名を残しましたが、地区名を残したことでその地区割り意識がずっと残ってしまうと思われま

## 12 宍戸小学校からセレモニー諏訪への道路について (7/4)

【意見】宍戸小学校へのバイパスとセレモニー諏訪へ出る道が新しく整備されたが、あの道路はなぜ必要なのか。環境組合の最終焼却灰を受入れたときに当時の区長たちが条件として出したと聞いたが、見直しすることはできないか。

【回答】30年、40年も前の話などは、時代が変わっていきますので時効があると思いますが、当時、ごみ処理施設や斎場といった施設を建てる時に地元の方と約束したものについては、今も施設を使っている以上、約束を守らなければならないと思います。

当時の状況によって、住民と約束したもの、例えば「田んぼの水のために井戸を掘ったときはその電気料は市が負担する」、「下水処理施設周辺には地域交付金を出す」などいろいろあります。約束したことは一気に廃止することはできませんが、徐々に廃止できるものは、住民の皆さんと話し合い、わかってもらえることもあります。もちろん、その反対もあります。

## 13 防災無線について (7/4)

【意見】防災無線のアナウンスは、男性の声の時に低くて聞こえにくい。女性の声の方が聞きやすいと思う。

【回答】防災無線については、意見をよくいただきます。最近はある限り女性がするようにしています。防災無線では長い情報を流すとわかりにくいので、緊急時に使うようにしています。

## 14 自転車の運行指導について (7/5)

【意見】自転車の運行について、平成20年5月1日から通行区分が変わり、自転車は車両と同じ扱いになった。高齢者への技術指導が必要と思うが周知する機会はないか。

【回答】交通安全協会が自転車運転についての技術指導を行っていることを、高齢者クラブ連合会や地域の高齢者クラブの団体等にお知らせしていきます。

## 15 地域との連携について (7/5)

【意見】地区の区長を団塊の世代の方がやらず、高齢の方がやっている地区がある。次世代へのバトンタッチができていないと思うが、市として何か対策をとっているのか。

【回答】区長さんには地域の行政サービスの一翼を担っていただいております。区長さんの任期等についてはそれぞれの地域によって判断していただいております。一人の区長さんが社会福祉協議会の役員や違う団体の役員になっていただいております。一人で3、4役やっております。それは、地域の判断でいいと思っておりますが、区長さんについては特別職員ということでお願いしております。

行政として区長さんにいろいろとお願いしてしまうところもあり、区長さんの仕事量は増えているかとは思いますが、区長制度によって住民との接点、連携をしていますので、この制度は維持しながらこれからも進めていきたいと思っております。

協働の社会作りという観点では、これからは役所だけでできないところは、住民にも担っていただこうと考えています。特に団塊の世代で退職された方には、自分の知識や技術を何らかの形で地域に役立てたいと思っている方が非常に多いので、そういった方々に地域のお手伝いいただくことは必要だと思っております。それを支援するための一つの方法としてNPOの組織をつくる支援をしたり、地域づくり活動へ補助金を出したり、活動自体にポイント制度を作った意欲を持っている方の背中を押すための支援をしています。

## 16 地域ポイント制度について (7/5)

【意見】地域ポイント制度のポイントは一生懸命やっている人に還元してもらえるのかと思ったらそうではないようだ。ポイントとは何なのか。市と地域との連携がいまいちだと思ふ。

【回答】今年の1月から地域ポイント制度の社会実験を始めまして、現在1,000人ほど登録されている方がいます。行政が主催する事業や、行政と共同で行う事業などに参加していただいた方にポイントを付与していく制度です。また、公共性の高い団体のイベントや講師をされた場合も少し高いポイントをつけています。ポイントを使うところは、現在検討中ですが、自分のものとして商品と交換したり、ポイントを寄付して市民活動団体に支援したりすることを考えています。本格的な運用の前の段階ですので、いろいろな意見をいただき、それを加味しながらよりよい形にしていきたいと思っています。

## 17 交通安全教育指導員と交通安全母の会について (7/5)

【意見】第9次交通安全計画ができたが、その中の交通安全教育指導員についての進捗具合はどうか。また、PTAとの協力についてはどうなっているか。

【回答】交通安全教育指導員については平成25年度から配置することになっています。

交通安全母の会の役員さんがなかなか増えないということで、PTAの方々に協力していただくよう、お願いすることになりました。先月、初めてPTA役員会へお願いをしてきたところ、来年から2~3人程度、交通安全母の会の役員を選出していただくことになりました。

## 18 地域の人材利用について (7/5)

【意見】市民の中にいろいろな人材が眠っていると思うが、連絡協議会などの委員はいつも同じメンバーなので、もっと経験や知識が豊富な人材をいかせないか。

【回答】市には、いろいろな審議会や検討委員会がありますが、審議会の中にはこういった団体から何名という決まりになっているものがあります。例えば、農業関係であったら、農業協同組合や認定農業者や経営士の中から代表を選んで審議会などを構成するのですが、だいたい同じメンバーになってしまいます。我々としては会長でなくても、参加したいという意欲のある方を出してくださいというお願いをしていますが、最終的には会長などの代表者が出てくることが多くなってしまいます。それは工夫していきたいと思ふ。

また、総合計画のように特定の分野に関わらないものなどは、女性の委員を3割から4割にしようとしています。一部の方の情報しかありません。女性委員などの登録制度があるのですが、実態としてはなかなか登録していただけていません。特に女性の人材について、情報があれば秘書課まで情報提供していただきたいと思っています。

## 19 防犯連絡員への犯罪情報の提供について (7/5)

【意見】防犯連絡員は、防犯協会の下部組織ということで、役割の一つに地域安全の情報提供ということがある。しかし、車上荒し、空き巣、自転車盗難といった情報が届くのが遅い。防犯協会から防犯連絡員へ地域安全情報を提供することをお願いしたい。

【回答】地域の安全の情報提供ということですが、子どもの登下校の時に不審者が現れたときは不審者情報をかさめ〜で流しています。しかし地域住民にどう伝えるかという手段については、今のところありません。情報は警察がもっていますので、メールで防犯連絡員に伝えるような仕組みができないか、警察や防犯協会に相談してみます。

## 20 防犯灯の管理について (7/5)

【意見】市管理の防犯灯については、市に情報がいかず切れて放置された状態になっていることがある。切れた防犯灯について情報提供をしたらポイントがつくようにしてはどうか。

【回答】地区の防犯連絡員さんには、防犯灯が切れているときは市に連絡していただき、市民活動課の方で区の管理の防犯灯か、市の管理の防犯灯なのか確認して対応しているという状況です。

## 21 笠間地区の行政区名について (7/5)

【意見】笠間地区については、区の名前が1区2区という名前になっているが、友部や岩間のように地区名の方がわかりやすいのではないか。

【回答】笠間地区は確かに、番号が行政区名になっています。ただ、長年習慣としてきたので、変えるのは難しいと思っています。

## 22 区長の条件について (7/5)

【意見】区長は兼務をしていることが多く、人選はくじ引きなどで決まっているのが現状だ。市で区長の条件のように、ある程度区長になる者の枠組みをつくってはどうか。区長の仕事は、1年2年で取り組めるものではなく、4年くらい継続して取り組む必要があるのではないか。市政の中の一端を担うというのであれば制度の見直しが必要だと思う。

【回答】いろいろな状況下で区長さんに就任していただいているので、それぞれ状況が違うと思います。やらざるを得ないという方も、2期3期とやっていたりしている方もいらっしゃいます。行政としては、3~4年の期間でやっていただけるのありがたいのですが、実態はなかなか成り手がいないので結果的に公平な1年交代の回り番でやっている地区があります。順番がまわってきたから区長をやるということで、車の運転ができないという方も中にはいらっしゃいますが、一生懸命職務を全うしようとしてくださっています。区長さんによっては非常に重荷になっている地区があります。

また、1年交代だと継続性については途切れてしまうこともあり、いろいろな課題があります。市として区長さんの条件を限定してしまうと手が見つからなくなってしまうとも思います。

人材よりも、区長会に参加できる人や一人暮らしでない人のようなゆるやかな条件をつけることは区長会に話してみたいと思います。

## 23 滝川から池野辺の道路について (7/5)

【意見】合併特例債で滝川から池野辺まで道路ができたが、工事途中なのか丁字路になって県道とつながっていない。先日、自損事故も起きたので、整備をしてほしい。

【回答】その道路工事については、現在、地主の方と用地協力の交渉を行っております。反射板など設置できないか現地を確認して対応します。

## 24 不審者情報および高齢者の搜索情報について (7/5)

【意見】不審者情報が最近多いが、高齢者に知らせるためにもかさめ〜だけでなく防災無線で流してはどうか。また、高齢者が行方不明になったときは、防災無線等で流しているか。

【回答】行方不明者の搜索については、警察からの依頼もありますので、防災無線で流していません。しかし、不審者の情報は、防災無線で流すには情報量が多いため、かさめ〜のみ流しています。

## 25 不法投棄について (7/5)

【意見】北山公園には不法投棄が多いと聞くが、監視カメラや看板などを設置してはどうか。

**【回答】** 不法投棄については、役所でも目を光らせていますが、不法投棄される場所は人目につかないところで行われています。不法投棄対策は、初期の情報提供が大事だと思いますので、不法投棄があったときは、環境保全課に連絡していただければ、警察や地元の方と連携をとって対策を進めていきたいと思っています。情報提供が大事ですので、郵便事業者と連携するなどの情報収集もしています。

## 26 自警団の結成について (7/5)

**【意見】** 区長会を通じて、自警団の結成を促してほしい。320 の行政区があるが、防犯ボランティア連絡協議会に加盟している自警団は 25 団体である。自治会活動の一環として 10 人程度の小規模の自警団が必要だと思う。平成 17 年には、常陸大宮市で区長会に自警団の結成を要請しているので、可能であれば笠間市でもお願いしたい。

**【回答】** 区長会を通じて、自警団の結成を要望することはできるのですが、区長さんに負担がかかってしまうと思います。現在、災害時の自主防災組織の結成をお願いしていますので、さらに負担となってしまうことをお願いするのは難しいと思います。

また、自警団の活動時には、腕章をつけていただいています。他にも活動に必要な備品を調査していますので、自警団を作った場合の備品の支給などの情報提供はしていきたいと思っています。

## 27 セブンイレブン手越店前の信号について (7/5)

**【意見】** 手越のセブンイレブンから飯田までの道路に感應式信号がついているが、右折レーンに小型車が進入しても感知しないので、つけ直してもらえないか。

**【回答】** 警察に話してみます。

## 28 ボランティアの理解について (7/5)

**【意見】** 若い人たちの中には、ボランティアは好きでやっているという冷めた見方をしている人がいる。ボランティアの実態について知り、温かい目で見してほしい。

**【回答】** ボランティアは自主的に行うものですので、時間にゆとりのある方のほうがやりやすいということはあると思います。いろいろな意見をお持ちの方がいるとは思いますが、ボランティアをしている方はご自分で自負心を持ってやっていただければと思います。ボランティアの実態を知ることということで、現場を見ることは大事なことだと思います。いろいろな形で足を運びたいと思います。

## 29 地域ポイント制度のポイントについて (7/5)

**【意見】** 地域ポイント制度のポイントがいっぱいになったところに、市に寄付してくれといわれた。一生懸命に貯めたポイントを寄付させるのはどうか。

**【回答】** 地域ポイント制度のポイントについては、個人が貢献したことに対してポイントがつきますので、市として寄付の制度についてのお話はしますが、寄付をお願いすることはありません。あくまでも本人の判断です。

## 30 交通安全母の会の補助金について (7/5)

**【意見】** 交通安全母の会には市から予算がついているか。

**【回答】** 20 万円くらい補助しています。

## 31 自主防災組織の備蓄倉庫の減免措置について (7/5)

**【意見】** 自主防災組織で準備した備蓄用倉庫を建てるのに、土地を借りたり、建物を建てたりし

た場合の減免措置はあるのか。

【回答】公民館は減免措置があるので、税務課とよく検討します。

### 32 自警団に対する表彰について (7/5)

【意見】自警団に対する表彰をお願いしたい。

【回答】表彰規定を確認します。

### 33 歩道橋について (7/8)

【意見】歩道橋を付ける場合は警察をお願いした方がよいのか。

【回答】道路管理者に権限があります。国道であれば国、県道であれば県に、市道は市に設置権限があります。

### 34 区長回覧について (7/8)

【意見】週報は回覧なのに、各団体の広報紙は戸別配布となっており、誰も取らないため余ってしまう。各団体の発行物を集約することはできないのか。

【回答】区長回覧については、いろいろご意見をいただきますが、週報を戸別配布にするには、配布枚数分の大幅な増刷が必要になりますし、各団体の広報紙は、それぞれの活動をお知らせするためにも必要なことです。ご理解いただきたいと思います。

### 35 太陽光発電の追加助成について (7/8)

【意見】太陽光発電システムの補助金抽選に2回も落選したが、追加助成の予定はあるか。

【回答】太陽光発電システムの補助金については、今年は去年よりも多く予算取りしましたが、申請件数が増えているので、今後、補正対応したいと考えています。この補助金は、皆さんが購入しているゴミ袋の売り上げを原資にしている補助金です。

### 36 ソーシャルメディアを活かしたPRについて (7/8)

【意見】佐賀県の武雄市は人口5万人で、フェイスブック課を作り、観光や産業のPRをしている。もっと民間と連携し、デジタル情報の発信などのPRをした方がよいのではないか。

【回答】現在研究しているところですので、近い将来ソーシャルメディアを活かした情報発信ができるようになると思います。

### 37 岩間駅について (7/18)

【意見】岩間駅が新しくなるが、これは市の予算から出ているのか。

【回答】岩間駅には約11億円かかりました。JRが約1億円負担し、市が合併特例債を使って行いました。合併特例債は、国から交付税で措置してくれるというものです。

お金をかけすぎではないかというご意見もあるかもしれませんが、岩間地区の議員さんからの強い要望もありましたし、合併時の合意事項の一つでしたので、進めました。合併時の合意事項とはいえ、それだけのものを造る必要があるのか迷いましたが、岩間地区で説明会を開いたところ、やるべきだという意見がありましたので進めました。老朽化もしていましたし、東西の自由通路は要望もありましたので、必要なものであったと思います。

### 38 岩間海洋センターについて (7/18)

【意見】岩間海洋センターのプールの屋根が、ひょうの被害で壊れてしまったのできちんと直してほしい。

**【回答】** 岩間海洋センターのプールは B&G 財団で作った施設で、市が作ったものではありませんので、災害復旧申請ができないものです。また、B&G 財団でもたくさんの施設をもっていますので、すぐには復旧できませんでした。

また、屋根そのものが必要なのかという問題があると思います。現状として、小中学校のプールも屋根はありません。しかし、穴の空いたままにしておくのはよくないので、屋根が必要ないならとったほうがいいと思います。きちんと話しあっています。

### 39 市民体育館の再開時期について (7/18)

**【意見】** 市民体育館はいつから使えるようになるのか。

**【回答】** 市民体育館は、東日本大震災で天井が落下するなど大きな被害を受けました。この体育館は国体が開催された昭和 49 年に建設された施設で、床やトイレなどの傷みがありましたので、この機会に改修する予定です。また、現在、使えなくなっている友部公民館体育室などの施設は、来年の 4 月からは使えるように工事などを進めています。

### 40 公民館の人形劇について (7/18)

**【意見】** 笠間公民館と友部公民館で人形劇を上映したことがあったが、友部公民館では無料で観ることができた。しかし、笠間公民館では有料だったので、同じ笠間市内なのにおかしいのではないか。

**【回答】** 事実確認を取ったわけではないですが、市の予算をたてるときに、公民館独自の事業として、友部公民館は当初から計画していて予算にも計上したけれど、笠間公民館は後から人形劇上映の話が来て、予算を計上していなかったもので、個別に料金をとってくださいという方法にするしかなかったということが考えられます。3 公民館で、共通する事業と独自の事業を行っています。確かに、住民からするとわかりにくいと思いますので、確認します。

### 41 敬老会の予算について (7/25)

**【意見】** 敬老会の予算が少ないので大変。市で助成を増やしてほしい。

**【回答】** 市では敬老会の事業費として一人 2,000 円を助成しています。現在、敬老会は集会所や公民館単位で行ったり、学校単位で行ったりしています。今後、市からの助成金が増えることはありません。大変でもその金額の中で工夫できるような取り組みをお願いします。一人当たりの単価は変わらなくても、市で支出する金額は増えていきます。しかし、市全体の予算も際限なく増やしていくわけにはいきません。全体を抑えていかなければ市の財政がもたなくなる可能性がありますので、できる限り抑えていきたいと考えています。

### 42 敬老会に関する職員の対応について (7/25)

**【意見】** 敬老会について職員から説明を受けたが、もっと丁寧な説明があるべきだ。こちらは協力者なのに、役所からいろいろと指示が出るので、立場が逆転したような感じを受けた。

**【回答】** 昔は、高齢者が今ほど多くもなく、市役所が中心となって敬老会を開催していましたが、現在は高齢者が多くなり、市役所でも対応しきれなくなり、交通手段が無いなどの理由から地域で行うようになるなど開催の仕方が変わってきました。現在 120 か所程度で敬老会を開催していますが、分散すればするほど役所でも対応できなくなっており、社会福祉協議会やボランティア、女性会などのいろいろな団体をお願いしながら開催しています。このような状況なので、敬老会は地域の方に開催していただくことが、当たり前のような対応があったのかと思います。

市内のいろいろな敬老会に出席させていただくと、75 歳くらいの方はあまり出席されていません。元気な方ほど、まだ、敬老会に出るような年ではないという思いなのかもしれません。かど

いって、対象年齢をあげればいいのか、開催方法を変えればいいのか、すぐに結論は出ませんが、現状のままずっと続いていくことにはならないと思います。対象者が100名いるのに、出席者は30名程度で、しかも受付だけして帰ってしまう方もいます。そのような姿を見ていると、敬老会自体に疑問を持ってしまいます。一方で、地域の方々が久しぶりに顔を合わせて和気あいあいとしているのを見ると、ほのぼのとしていいなと思うこともあります。

#### 43 敬老会の開催内容について (7/25)

【意見】敬老会で何をやって楽しませるのか、考えることが大変だ。

【回答】敬老会を地域で行う場合には、地域で演芸を行っている方などを呼ぶなど、当初はいろいろな取り組みをしましたが、2年、3年と回を重ねると何をしたらよいか困っている地域もあるようです。お年寄りに楽しんでいただくということでは、出し物があつた方がよいとは思いますが、続けていくことは大変です。地域の敬老会は、食事会だけでもよいのではないかと思います。その方が主催者も楽ではないでしょうか。会話を楽しみにする方もいるので、無理のない自然な形で開催していったほうが長続きするのではないのでしょうか。地域の皆さんとよく話し合ってみてください。

#### 44 愛の定期便事業について (7/25)

【意見】愛の定期便について、いろいろな関係機関との連携共同が必要だと思うが、例えば、社会福祉協議会やその支部などどのような共同連携をしていったらよいか。

【回答】難しい課題ですが、高齢者や障害者が今後増えていく中で、支援しなくてはならない方に、何をどのような方法で支援していくかだと思います。事業によっては、重複しているものや、支援の必要性が低いものもあります。一人暮らしの方に一番必要なことは、安否確認です。そして、一人暮らしの安否確認をするにはどうしたらよいかを出発点に、社会的に支えていかなければならない方を支える仕組みづくりが必要だと思います。行政だけでは無理なので、社会福祉協議会、民生委員、区長、生協（日本生活協同組合連合会）、新聞配達員、郵便配達員、牛乳配達員などで仕組みをつくっていけば、愛の定期便事業でなくても十分成り立つのではないかと考えています。市でも、3年前から議論していますが、なかなかまとまりません。いろいろな視点から、支援のあり方について勉強していきたいと思っています。

#### 45 避難所について (7/25)

【意見】避難所はこれからどのようにしていくのか。

【回答】市では、6か所の拠点避難所を定め、投光機、発電機、井戸、備蓄品などを整備しました。拠点避難所を中心に、地域で自主防災組織を結成していただき、集会所等で地域避難所としての取り組みをお願いしています。井戸や、地域住民の把握などは自主防災組織に機能していただきたいと思っています。全体としては拠点避難所、地域としては自主防災組織と、2段階で進めています。

拠点避難所については皆さんに認知されていますが、自主防災組織についてはまだ理解されていないことが課題です。

#### 46 社会福祉協議会笠間支所について (7/25)

【意見】震災以降、社会福祉協議会笠間支所は3か所に分散して運営している。事務室は、プレハブの笠間支所の一部を借りている。会議室、相談室として旧笠間保健所を借りている。配食サービスの調理室として、笠間公民館の調理室を借りている。業務の推進、地元住民の利便性の向

上のため、それらの一元化を図るため、社会福祉協議会笠間支所の早期再建について支援をお願いしたい。

また、笠間公民館の調理室を借りて、80食分の配食サービスをはじめたが、食材やパックなどの準備に時間がかかってしまい、調理が遅れてしまう。また、公民館の年間使用について確約もないので、配食サービスの拠点となる場所がほしい。

**【回答】**社会福祉協議会の支所として、事業や会議、ボランティア活動や配食をつくる調理室などの機能を備えた施設が必要ということですが、既存の市が所有する建物のなかに合致する施設はありません。市役所としては、笠間支所について決定しないことには、一か所に集まる方が一番機能的な社会福祉協議会の事務所やシルバー人材センターの事務所、観光協会の事務所などの場所について整理できないことが現状です。市では、笠間支所の候補として笠間法務局の跡地を考えていますが、そこを笠間支所とした場合、敷地上支所機能しか入れることができません。また、駐車場の問題もありますので、社会福祉協議会笠間支所は独自の事務所を持ったほうがいいと思います。

配食サービスについては、臨機応変に対応するよう笠間公民館に話しておきます。

#### 47 要援護者との関わりについて (7/25)

**【意見】**一人暮らしの要援護者の関わりは民生委員などが中心となって関係機関とネットワークをつくり、情報交換が必要ではないか。在宅でいる方とどう関わりをもっていくのが重要だと思う。

**【回答】**一人暮らしといっても、個人で状況が違いますので、必要な方には日常生活を維持していくための支援をしていく必要があると思います。課題として、介護保険対象外の方たちとどう情報交換していくかについて仕組みづくりが必要です。

65歳以上の一人暮らしは約1,500人います。支援の必要な方は、2割程度の300人くらいだと思います。全国的な問題でもありますので、他の自治体などを参考にしながら取り組みたいと思います。

#### 48 寄付者の氏名公表について (7/25)

**【意見】**プライバシーの保護ということで、寄付者の氏名を伏せて金額を出すより、きちんと氏名を公表した方がよいと思う。

**【回答】**匿名でという方も、公表してほしいという方もいますので、本人の意思でいいと思います。